



かしわざき

# 市議会だより

平成 19 年 7 月 20 日 発行

No. 129

発行  
柏崎市議会  
印刷  
(株)小田

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp>



## 議席

3 持 田	4 中 村	5 入 沢	16 若 井 (洋)	17 笠 原	18 高 橋	19 矢 部	20 遠 藤	21 本 間	22 若 井 (恵)	23 真 貝	28 五 十 嵐	29 梅 沢	30 丸 山
	1 片 山	2 宮 崎	10 佐 藤	11 池 田	12 飯 塚	13 吉 川	14 斎 木	15 霜 田	26 荒 城	27 三 井 田			
			6 村 田	7 砂 塚	8 星 野	9 加 藤	24 野 中	25 吉 野					

## 五月臨時会

市議会五月臨時会は、五月二十一日(会期一日)に開催されました。改選後の初議会で、議長や副議長の選挙などを行うとともに、市長提出の契約議案などを審議しました。

## 六月定例会

市議会六月定例会は、六月十一日から六月二十二日までの二十二日間の会期で行われました。

## 主な内容

○ 5月臨時会の概要 .....	2P
○ 6月定例会の主な議案 .....	3~4P
○ 一般質問 .....	5~12P
○ 議会日誌 .....	12P
○ 議員を紹介 .....	13P
○ 議決一覧 .....	14P
○ 議員寄稿 .....	15P
○ 政務調査費会計報告 .....	16P
○ 編集後記 .....	16P

審議した案件は、市長提出十九件、議員提出二件の合計二十一件で、このうち二十件を原案可決(承認・同意)、一件を継続審査としました。  
可決した主な案件は、平成十九年度一般会計補正予算、契約締結(二田コミュニティセンター新築(建築本体)工事)、財産取得(電気式食器消毒保管庫)、監査委員選任、教育委員任命、「年金記録」問題被害者への速やかな補償を求める意見書(案)などです。

# 五月臨時会 霜田議長、中村副議長を選出

五月二十一日、改選後の初の議会となる臨時議会を開催、議長や副議長の選挙などを行いました。

議長選挙の結果は、

霜田 彰 議員 十六票  
本間 厚幸 議員 十一票  
持田 繁義 議員 三票

となり、霜田彰議員が議長に当選、就任しました。

副議長選挙の結果は、

中村 明臣 議員 十五票  
荒城 彦一 議員 四票  
丸山 敏彦 議員 四票  
宮崎 孝司 議員 三票  
遠藤 清 議員 二票  
真貝 維義 議員 二票

となり、中村明臣議員が副議長に当選、就任しました。各議員の委員会の所属等は、左記の一覧表のとおりです。

柏崎市議会の構成 (平成 19 年 5 月 24 日 現在)							
議席番号	氏名	総務	厚生	文経	建企	議運	会派名
1	片山 康夫		○				日本共産党 柏崎市議員団
2	宮崎 孝司			○			日本共産党 柏崎市議員団
3	持田 繁義	○				●	日本共産党 柏崎市議員団 蒼生会
4	中村 明臣			○			蒼生会 会長
5	入沢 徳明		●			○	自治研究会
6	村田 幸多朗				○		自治研究会 代表
7	砂塚 定広	○				○	平成会
8	星野 正仁			○			平成会
9	加藤 武男		○				柏崎のみらい 柏崎のみらい表
10	佐藤 敏彦		○				柏崎のみらい
11	池田 千賀子	◎					市民クラブ
12	飯塚 寿之			●		○	市民クラブ 市長
13	吉川 英二		○				市民クラブ
14	斎木 裕司	○				○	市民クラブ
15	霜田 彰				○		社会クラブ
16	若井 洋一			◎			社会クラブ 長
17	笠原 浩栄		◎				社会クラブ
18	高橋 新一				○	○	社会クラブ
19	矢部 忠夫		●				社会クラブ
20	遠藤 清			○		◎	民友会 会長
21	本間 厚幸				○		公明党
22	若井 恵子			○			公明党 代表
23	真貝 維義	○				○	平成会
24	野中 栄司				○		平成会
25	吉野 芳章			◎			平成会 会長
26	荒城 彦一	○				○	整風会
27	三井田 孝欧		○				整風会
28	五十嵐 直樹				●		整風会
29	梅沢 明			○		○	整風会 会長
30	丸山 敏彦	○					

(略号) ●委員長 ◎副委員長 ○委員  
常任委員会=総務、厚生、文教経済、建設企業  
議運=議会運営委員会

## 議長就任に当たって

このたびの市議会議員選挙の結果、会派の数は十、うち四つが二人会派と、小会派分立の状態となりました。議会運営がこれまでになく難しくなるであろうことは、言うまでもありません。議長の最大の職務は、より多くの意見を出していただき、十分に議論をした上で、公平公正な議会運営をすることにあると思います。議長継続に対して批判があることを承知の上で立候補したのは、何よりもこうした難しい状況の中で、市政に

混乱を来すことのないよう、二年間の経験を生かして、議会運営に力を注ぎたいと思っただけです。

また、この二年間、多くの会に出席して感じたことは、「現在、議会ではどのような問題が議論し、どのような意見が出ているか」ということが、なかなか市民に伝わっていないということ。過去には、休日議会や夜間議会等を試みましたが、効果はありませんでした。市民に足を運ばせるのではなく、こちらから出向く必要もあるのではないのでしょうか。その意味では、出かける機会の多い議長は、

市民と議会との接点として、営業マンでもあらねばならないと思っています。

柏崎市議長は、全国原子力発電所立地市町村議長会の会長でもあります。一昨年開催の原発サミットを運営した経験を生かして、原発立地地域の抱える諸問題について、国と継続的かつ粘り強い対話を続けていきたいと思っております。



## 総合体育館改修へ

五月臨時会に次の契約締結案が提出され、全会一致でこれを可決しました。

▼柏崎市総合体育館改修工事(金額)二億六、五六五万円(相手方) 榎植木組柏崎支店

### 南鯖石地区の危険建物解体へ

市議会六月定例会に平成十九年度一般会計補正予算(第二号)が提出され、議会は全会一致でこれを可決しました。

この補正予算は、当初予算成立後に発生しました臨時的経費について、総額六億六、四一九万五千円を追加するとともに、地方債補正を行うものです。

補正予算の主な追加は次のとおりです。

▼市有財産保全整備事業(南鯖石地区旧柏崎スプリング工場跡解体経費) 一、七〇〇万円

▼情報化推進総務費システム管理経費等(情報セキュリティ強化等) 二六二万六千円

▼心身障害者通所援護事業(たまり場喫茶めぐ補助) 六八万一千円

▼児童遊園管理費(西山町住吉団地遊園トイレ等撤去) 二十九万八千円

▼地球温暖化対策事業(事業の強化) 一〇〇万円

▼ごみ減量化・リサイクル対策費(リサイクルセンター障害者雇用促進) 一〇〇万円

三三八万五千円

▼施設園芸産地育成事業(いちご高設栽培補助) 一六八万九千円

▼中小企業等融資事業 四億円

▼消融雪施設維持管理費(市道岡田荻ノ島線消雪パイプ井戸補修) 四五〇万円

▼除雪基地修繕事業(外壁修繕) 一、四〇〇万円

▼橋りょう修繕事業(市内全橋りょう点検) 二、九〇〇万円

▼河川維持補修事業(鯨波二の川ほか) 八〇〇万円

▼自主防災組織育成事業(北鯖石地区) 一〇〇万円

▼豊かな体験活動推進事業(北鯖石小ほか宿泊体験) 一七四万円

▼地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(スクールガード一人追加) 二二二万四千円

▼学校管理運営費(小中学校図書購入:北越銀行寄附) 四一〇万円

▼英語活動等国际理解活動推進事業(田尻小の英語教育充実) 一〇〇万円

▼施設整備事業(荒浜小防水工事) 三六〇万円  
▼グラウンド補修事業(田尻小グラウンド暗渠排水補修) 二、九〇〇万円

▼耐力度調査事業(東中ほか耐力度調査) 三、〇五〇万円

▼道路橋りょう災害復旧事業(中越地震道路陥没復旧) 八、〇〇〇万円

### 二田コミュニケーションセンター

六月定例会に次の契約締結案が提出され、これを可決しました。

▼二田コミュニケーションセンター新築(建築本体)工事 (金額)二億二、七八五万円(相手方) ㈱植木組柏崎支店

### 特別職給与条例改正は継続審査に

株式会社柏崎ぶどう村の自己破産に伴い、市の出資金二、四〇〇万円の損失を発生させたこと、また、株式会社柏崎ぶどう村の再建策として新たに八、〇〇〇万円の出資を計画したにもかかわらず、この再建計画を取り下げるなど、議会と市民に混乱を生じさせたことに対する責任を明確にするため、市長(給料十分の二減給三カ月)、副市長及び収入役(給料十分の一減給三カ月)の給料を減額する条例改正案が議会に提出されましたが、「まだ不明部分がある中、処分を決めるのは時期尚早」などにより、継続審査とすることが賛成多数で決まりました。

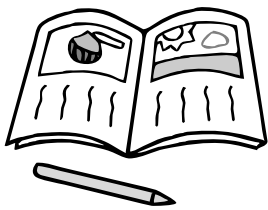
### 人事案件に同意

六月定例会に次の三件の人事案件が提出され、議会はこれに同意しました。

○監査委員(議員から選出する委員) 遠藤 清議員(新)

○教育委員会委員 栗林 淳子氏(再)

○人権擁護委員候補者 茂田井信彦氏(再)



### 食器消毒保管庫を購入

学校給食共同調理場で使う電気式食器消毒保管庫九台を購入する議案が議会に提出され、これを可決しました。

(金額)二、二〇五万円(相手方) ㈱ミタカ

### 六月定例会 審議日程

- 6・11 本会議①議案審議
- 12 本会議②一般質問
- 13 本会議③一般質問
- 14 本会議④一般質問
- 15 文教経済常任委員会
- 18 建設企業常任委員会
- 19 文教経済常任委員会
- 20 厚生常任委員会
- 20 総務常任委員会
- 22 総務常任委員会
- 本会議⑤議案採決

### 議員発案

六月定例会で次の二件の意見書を探択し、関係機関に送付しました。

**三〇人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率二分の一復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書**

(要望事項) 三〇人以下学級の実施をはじめ、読書の推進、健康教育や食教育の充実、地域に根差した教育の推進などの教育課題に対応するために「義務標準法」を改正すること。

地域の事情や子供の実態を考慮した弾力的な教職員加配を行うこと。  
義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を三分の一から二分の一にすること。

**「年金記録」問題被害者への速やかな補償を求める意見書**  
(要望事項) 未納扱いになっている方の納付記録を復元するため、全国の社会保険事務所や市町村に散在している元台帳とコンピュータのデータとを照合して、コンピュータ

にすべての納付記録が正確に  
入力・管理されるように調査・訂正すること。

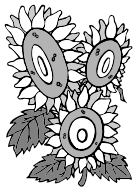
すべての加入者に納付履歴を送付して緊急にチェックしてもらおうとともに、御本人と結びついていない納付履歴について、工夫して情報を提供して注意を呼びかけること  
によって、速やかに納付記録を是正・統合すること。

完全に納付記録が消失してしまった方については、国の過失を認め、加入者側の証言を最大限に尊重して補償すること。

### 広域連合議会の議員を選挙

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を六月定例会最終日の六月二十二日の本会議で行いました。

投票の結果は、  
持田 繁義 議員 十六票  
佐藤 敏彦 議員 十四票  
となり、持田繁義議員が当選しました。



### 委員会審査から

#### 総務常任委員会

総合企画部、財務部、市民生活部及び消防本部関係の案件を審査しました。

審査の中では、地球温暖化対策事業の取り組み、資源物リサイクルセンターにおける障害者雇用、南鯖石地区の危険建物解体、セキュリティポリシー違反とその処分、公共工事契約の入札状況、柏崎ぶどう村に係る問題点の解明と市長等の責任と処分などについて、質疑や意見がありました。

#### 厚生常任委員会

福祉保健部関係の案件を審査しました。

審査の中では、心身障害者通所援護事業の補助金の今後の動向、補助金の根拠、制度の継続性、児童遊園管理費の西山町住吉団地児童遊園の遊具・トイレ撤去の理由、撤去費用の負担、かしわざきこども大学運営協議会委員の構成、御山荘民営化移行後の運営な

総務常任委員会



産業総合振興事業の補助率、いちご(越後姫)の栽培施設の補助対象、融資預託事業の補正の要因、今後の景気動向の見通し、豊かな体験活動推進事業の内容、小学校における英語活動等国際理解活動推進事業の学校の選定理由、田尻小学校改築工事にかかわる契約とグラウンドの暗渠排水の関係、暗渠排水整備が必要となるかの事前予測、小中学校耐力度調査の実施時期の妥当性などについて、質疑や意見がありました。

#### 建設企業常任委員会

都市整備部及びガス水道局関係の案件を審査しました。

審査の中では、道路パトロールの結果における高柳町、西山町の現状と改良の必要性、中越地震の後遺症による道路陥没などの今後の発生見通し、橋りょう安全点検業務委託の内容及び件数、除雪基地修繕工事の内容、都市計画マスタープランと第四次総合計画との関係などについて、質疑や意見がありました。

#### 文教経済常任委員会

産業振興部及び教育委員会関係の案件を審査しました。

審査の中では、ぶどう等研究開発園管理業務委託の対象となるエリア、収穫するぶどうの扱い、柏崎ぶどう村への委託と今回の委託の違い、柏崎ぶどう村への初期投資が過大だったという認識、農林水



# 一般質問

## 市政のここが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)

### 循環型社会の実現と ごみの有料化のねらい



砂塚 定広 議員

#### 一 循環型社会の実現について

(一) ごみの有料化について、  
考え方を問う

(二) バイオマスタウン構想  
の具体的取り組みについ  
て

(三) 循環のまちづくりを進  
める条例の制定について

すべてのごみは資源にな  
り得るとの原点に立ち返り、  
減量化と並行しながら、資源  
化対策を優先するという考え  
方に切りかえていかないと、  
市民の協力も限界に達し、循

環型社会の実現は難しいと考  
える。循環型社会の実現とご  
みの有料化のねらいをどのよ  
うに考えているか。また、ご  
み有料化再提案の時期はいつ  
ごろを予定しているか。

#### ◎市長

ごみとなり得るものすべ  
てを資源化することも大事な  
施策であり、まず、リデュー  
ス(ごみになるものは買う量、  
使う量を減らす)、次に、リユ  
ース(ものをすぐ捨てず、使  
えるものは、何回でも繰り返し  
て使う)、最後に、リサイクル

ル(不要になったものは、で  
きるだけ、再資源化してごみ  
を減らす)という順番が理想  
である。ごみを資源として有  
効活用することも減量化とセ  
ットとして考えなければなら  
ない。ごみの有料化の目的は、  
財源の確保ということではな  
く、ごみの減量化が主な目的  
であることは、これまでの議  
会、市民説明会で説明してき  
たところであり、ごみが減る  
ことよって、最終処分場等  
のごみ処理施設の延命化が図  
られ、将来的にその更新経費  
の負担が軽減されるという効

果がある。

循環型社会構築のためには、ごみの減量化を図っていかなければならないのは、待たなしの状況である。そのため一つの手段として、ごみの有料化について、財源の具体的な使い道など、その内容を改めて整理し、できれば、九月議会に提案したい。



### 小松跡地利用



高橋 新一 議員

- 一 柏崎市まちなか活性化方策検討調査について
  - (一) 検討委員会から出された「一案」と「二案」を比較し、それぞれ、どのように評価しているか
  - (二) 日石跡地、小松跡地取得の見通しはあるのか?
  - (三) 小松跡地は商業、アミューズメント等、民間活用として開発を急ぐべきではないか
- 二 旧かしわ荘跡地、旧中通中学校跡地など、使い道のない市有地の見直しと処分を検討するべきだと思ふが、市長の見解は?
- 三 信越本線(在来線)の利

便性の維持向上について  
 (一) 上越市議会の一部会派の在来線廃線提言について

(二) 柏崎市として信越線の利便性維持向上について、今後の取り組み

(三) 期成同盟会のあり方、協議の進め方について、見直しの必要性があるのではないかと

#### 四 原発について

(一) 一連の不正、改ざん問題について

(二) 相変わらず事故・トラブルが頻発しているが、何が原因か?

(三) 本場に東電の企業体質は変わるのか

小松跡地は、これから先、利用目的がままま遊休地として塩漬けしておくよりは、民間に売却し、将来的に財政負担を軽くしていくべきではないか。

#### ◎市長

小松跡地については、駅前地区への公共益的な都市機能の集積や日石跡地の環境整備スケジュールなどを勘案し、駅前地区の開発に先行し、民間活力による開発を進めるこ

とが有効である。開発に当たっては、中心市街地における都市機能の考え方を基本に、既存の商業に大きな影響を及ぼさないよう配慮しながらも、民間の比較的自由な発想によるいろいろな提案の中から、最も柏崎市のまちづくりにふさわしい案を得ることとした。今後、開発の要求仕様の設定と公表を経て、提案公募の開発コンペ、開発事業者の選定、用地の売却及び事業者による事業の展開を考え、今年度中、あるいは、来年度初めには、諸手続を終え、事業着手ができるようなスケジュールを描いている。

### 子ども育成基金を活用したキャリア教育



池田 千賀子 議員

一 柏崎で働きたいという人をふやすために(就業人口をどう確保するか)

(一) 当市の就業人口の見通しとその影響について

(二) 就業人口の維持(増加)のために必要な条件とは

(三) 柏崎市が行うキャリア教育は何をねらって実施するのか。また、どのように評価をしていくのか

#### 二 国の農業政策ではカバ

が困難な農地について、どう考えるのか

(一) 中山間農地は、柏崎市にとって、どのような位置づけか

(二) 現在実施している、非農家が耕作にかかわる事業を、どのように評価しているか

(三) 関心のある市民に、農業とかかわることについて伝える機会をつくることはできないか

キャリア教育は、自分を理解し、また、社会も理解し、適切な就職ができるために大切である。この事業の内容と目的は何か。また、どのように評価し、見直していくのか。

#### ◎市長

今年度、第一中学校でモデル実施を予定しているキャリア教育は、各中学校が総合学習の時間等を活用して行っている従来の進路指導・職場体験学習に、柏崎市第四次総合計画の基本方針に基づいた地元産業人の育成や二ト化・フリーター化の予防対策という今日的課題の解決のための産学官連携による、より充実したキャリア教育プログラムを目指している。

新たなプログラムとして、柏崎市や社会の仕組みを知る学習、自分に合った職業・適性を見つける学習、職場訪問、地元産業人による出前講座、企業の模擬体験などが計画され、地元や地元企業の学習及び地元への愛着の醸成をこの段階で培っておくことが、将来的に若い人材の地元定着に結びつくものと期待している。「かしわざきこども大学」のカリキュラムの一つとして、モデル的に実施するもので、その事業効果等の評価や見直しを行い、今後、軌道に乗せていくための見直しをつけたい。



## 市民生活と地域生活支援



片山 康夫 議員

一 後期高齢者医療制度について

- (一) 市の役割と責任は
- (二) 自己負担はどの程度になるのか

二 市民生活と地域生活交通について

- (一) 地域生活交通の拡充
- (二) 循環バスの運行範囲の拡大と増便

現在、笠島から米山町には路線バスが運行されていない。交通手段の確保が必要と思うが見解を伺いたい。

地域住民が主体となつてコミュニティバスを運行することも一つの考え方だと思

が、それに対する市の役割と援助はどうか。

◎市長

地域生活交通確保対策として、米山地区コミュニティ振興協議会が主体となつた乗合タクシーの試行実験実施を、七月中の運行開始を予定している。地域住民の参画による運営とタクシーという小型車両による運行によって、住民の意見が反映されるとともに、経費の節減と細やかな運行が可能となり、地区の特性に最も適した地域生活交通の確保が実現できるものと考え

地域住民が主体となつた地域の生活交通確保については、

地域住民から積極的に生活交通の確保に参画してもらい、地域住民・事業者・行政が適切な役割を分担しながら、公共交通利用の促進とともに、持続的な運営を図っていくことを基本と考えている。その枠組みの中で、市の果たす役割は、地域に対する運営・運行の企画立案や運行経費の公的支援だと考えている。

今回の米山地区のような地域住民が主体となつた生活交通の運営の試行実験は、市では初めての試みであり、県内

でも実施例は少ないことから、先駆的な取り組みとして運営や運行の体制、需要や採算性、地域住民・事業者・行政の役割のあり方など、多角的な検証を十分に行いながら、他の地区への展開も検討したいと考えている。



## (株)柏崎ぶどう村の行政責任及び経営責任



荒城 彦一 議員

一 (株)柏崎ぶどう村の自己破産と今後の対策について

- (一) (株)柏崎ぶどう村の自己破産をどのようにとらえているかについて
- (二) 行政責任及び経営責任について
- (三) (株)柏崎ぶどう村が担っていた行政目的について
- (四) 今後の対策について

二 第三セクターのあり方と行政との関係について

- (一) 第三セクターの役割と成果について
- (二) 第三セクターに対する行政の関与の仕方と責任のあり方について
- (三) 今後の方向性について

三 市政運営における制度・手順・意思決定・緊張感について

- (一) 業務執行上、手順・意思決定等について
- (二) 議会選出監査委員が一期時欠員扱いになるが、問題は無いのかについて
- (三) 職務執行は緊張感を持ってなされているかについて

大きな影響を与えているが、このことをどのようにとらえているか。また、市は筆頭株主の立場としての、経営責任について伺いたい。

◎市長

柏崎市が(株)柏崎ぶどう村の設立を主導し、市を筆頭株主とする第三セクターとしてスタートした経緯を踏まえると、行政責任が存在していることは、当然認識している。特に、今回の自己破産により、市が出資した二千四百万円の有価証券が、財産としての価値が消滅する結果となった。株主責任の結果とはいえ、市民の皆様に対し、重ねておわびを申し上げる次第である。

一般論で言うと、経営者である取締役、特に経営責任者である社長が経営責任を負わなければならないと思う。しかし、市が会社設立を主導し、社長就任の依頼をした経緯などを考えると、市も何らかの道義的責任を感じている。市長としても自ら責任を課す所存であり、今議会に「特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定」提案した。

(株)柏崎ぶどう村の自己破産は、市民や関係各方面に大



### 新市の一体化とは



村田 幸多朗 議員

- 一 合併特例法による「自治区」は、全国初の取り組み。市ははぐくむ姿勢を
- 二 合併後明らかにになった制度・システム、その運用が異なっていたことに起因するトラブルの解消について
- 三 新市の一体化とは、制度の一本化だけでなく、それぞれの地域の個性を認め合い、相互理解を深めることから

合併協議により、行政制度のほとんどが柏崎市の制度に統一されたが、今後、異なる制度の一本化に向けての見直しにおいては、異なる制度こそ両町の課題に対する知恵と工夫の部分であり、柏崎市の制度で補完できない制度の継続、さらに他の地域に有用な制度については、全市に適用することも考えていただけではないか。また、合併した二町住民と行政との信頼関係をさらに深めることが新市一体化にとつて重要であると考えられているか。

◎市長  
地域が抱える課題はさまざまであり、地域の個性や特性、有用な制度について、お互いに認識や理解を深めることは大切な視点である。除雪対策や高齢者の生活確保など旧高柳町が独自に取り組んできた知恵を大いに参考に検討を進めたい。柏崎市が一体となつて均衡ある発展に努めることはもちろんのこと、合併前の両町にはぐくまれてきた自然、歴史、文化、産業などの貴重な資源を大切にしながら、それぞれの地域が個性や魅力を磨き上げ、新たな魅力を創出していく必要があると考える。

た制度の一本化に向けての見直しにおいては、異なる制度こそ両町の課題に対する知恵と工夫の部分であり、柏崎市の制度で補完できない制度の継続、さらに他の地域に有用な制度については、全市に適用することも考えていただけではないか。また、合併した二町住民と行政との信頼関係をさらに深めることが新市一体化にとつて重要であると考えられているか。

◎市長  
地域が抱える課題はさまざまであり、地域の個性や特性、有用な制度について、お互いに認識や理解を深めることは大切な視点である。除雪対策や高齢者の生活確保など旧高柳町が独自に取り組んできた知恵を大いに参考に検討を進めたい。柏崎市が一体となつて均衡ある発展に努めることはもちろんのこと、合併前の両町にはぐくまれてきた自然、歴史、文化、産業などの貴重な資源を大切にしながら、それぞれの地域が個性や魅力を磨き上げ、新たな魅力を創出していく必要があると考える。

### 交流人口拡大策



加藤 武男 議員



- 一 柏崎市の観光福祉都市としての交流人口拡大策について
- 二 柏崎市の人口減少を食い止め、いかにして定住促進をするのか
- 三 子育て支援としての考え方から、乳幼児健診及び予防接種のやり方について

◎市長  
高齢者や障害者を常に念頭に置いたまちづくりが必要であると認識している。まちづくりのあらゆる分野に福祉の光を当てて取り組むことは大切であり、そのベースとなるのがユニバーサルデザインである。そのようなユニバーサルデザインを意識した各種ハード面の整備には、多額の経費と時間が必要であり、施設改修の機会をとらえて改善に努めるとともに、宿泊施設関係者を初め市民の「おもてなしの心」をはぐくむ取り組みについても観光交流事業

ら、それぞれの地域が個性や魅力を磨き上げ、新たな魅力を創出していく必要があると考える。

◎市長  
高齢者や障害者を常に念頭に置いたまちづくりが必要であると認識している。まちづくりのあらゆる分野に福祉の光を当てて取り組むことは大切であり、そのベースとなるものがユニバーサルデザインである。そのようなユニバーサルデザインを意識した各種ハード面の整備には、多額の経費と時間が必要であり、施設改修の機会をとらえて改善に努めるとともに、宿泊施設関係者を初め市民の「おもてなしの心」をはぐくむ取り組みについても観光交流事業

にあわせ、推進していきたい。また、バリアフリー情報を関係者が共有しながら、連携して取り組むなど、総合的に推進することで「行き良い街」となり、ホテルやレストラン、旅行などのホスピタリティ産業の育成につながると考える。



柏崎港観光交流センター「夕海」





## 旧トルコ文化村売却契約



眞貝 維義 議員

- 一 柏崎駅周辺中心市街地再開発について
- (一) 再開発に向けて具体化のプログラムについて
- (二) 市民会館建設と駅周辺再開発について
- 二 最近の契約にかかわる問題について
- (一) 旧トルコ文化村売却契約について
- (二) 番神海岸賃貸契約について
- (三) 職員の資質向上と機能する組織体制について

部には、建物が建っていて事業用借地権が設定されている。柏崎市が昨年この施設を売却した以降、一年になるが、だけれども、賃料、地代が支払われていない。賃料を払うべき相手は、柏崎市なのか、買主の会社なのか。また、市は、売主として、民有地の借地権の引き渡しについて責任ある履行をしていないのではないか。

◎市長  
旧トルコ文化村にある民有地部分については、まだ会社と地権者との間で賃貸借契約が交わされていないので、早期に話し合いによつて解決されるべきものである。

民有地の地権者の皆様には、公募前の平成十七年十二月に、訪問して説明をし、譲渡することに了解をいただいていると判断している。

公募条件等の中で、「用地内に一部民有地の借地が存在すること」が明記され、さらに留意事項の「用地内の民有地」の項では、地権者との交渉等については、譲受人において行っていた旨が明記されている。

これにより、譲受人は市の

担当と一緒に平成十八年七月、地権者宅を訪問し、あいさつと今後の進め方について説明している。

公募条件、建物売却に係る手続については、問題はなかったと考える。



## 過疎対策の取り組み



星野 正仁 議員

- 一 若者に愛される柏崎市政実現を目指して
  - 二 過疎対策の取り組みについて
  - 三 原子力発電所対策について
  - 四 柏崎・夢の森公園の活性化に具体的な対策は
  - 五 フロンティアパークと東京電力の関連及び役割は
- ◎市長  
中山間地域の農業振興対策として、中山間地域等直接支払制度の活用及び小規模な区画整理への助成や資材支給による農道補修などの支援を図っている。特に中山間地域等直接支払制度は、平成十二年度からの五年間限定としていた事業であるが、その果たす役割が非常に大きいことから、平成十七年度から五年間継続する措置がとられ、今後、事業効果などを分析した中で

国・県に対し、制度の継続・拡充を求めていきたい。中山間地域における小規模農家個々での営農には限界があることも認識している。支援策に加え、個別経営体から集落営農への転換が必要と考えている。今年度、農林水産課担い手育成係の組織強化を図ったが、集落内での話し合いの調整や相談などの支援を積極的に進めていきたいと考える。

町内再編については、小規模活動に苦慮している町内会に対しては、今後も隣接町内会との合併を奨励していきたい。具体的な支援策としては、合併町内会に対し、市政協理事務費予算から対等合併の場合にはそれぞれの町内会に一年分、編入された町内会に二年分の市政協理事務費分を奨励金として支払う制度がある。





### 五重の壁の機能は



宮崎 孝司 議員

- 一 原発でのコバルト60等人工放射性物質の放出について
- (一) 五重の壁は機能しているか
- (二) 今回の放出の経過、経路を求める
- (三) 人工放射性物質は常時放出されているとの認識を
- 二 教育方針にある教育の地方分権の立場維持を支持して
- (一) 学習指導要領の改訂があっても学校現場を混乱させない覚悟を問う
- (二) 全国一斉学力テストの弊害防止対策は

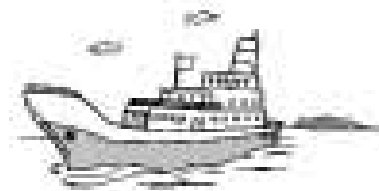
- (三) 教師の過重負担対策は
- 三 障害者自立支援法に伴う障害者作業所について
- (一) 作業所の格差是正策は
- (二) 軽度発達障害者の就労状態は

昨年海底土から、今年原発敷地内外からコバルト60が検出された。原発の安全確保に関する市民向けのパンフレットには、五重の壁で放射性物質を管理していると説明している。コバルト60の建屋外での検出は、五重の壁が機能しているとは思われないが、市長の見解はどうか。

#### ◎市長

五重の壁は、燃料の核分裂に伴って発生する核分裂生成物、この中には強い放射能を持つものもあり、これをいかに閉じ込めるかという趣旨のものであると理解している。今回発見されたコバルト60は、冷却水中に含まれるコバルトが中性子を吸収して放射化し、それが偶発的に排気筒から放出されたものと考えられる。これら通常運転に伴って発生する放射性物質は気体・液体・固体放射性廃棄物としてそれぞれ適切に処理・

管理されており、今回のコバルト60の検出で五重の壁が機能していないというのは、少し意味合いが異なるのかと考える。



### 地域医療と救急車の配備体制は



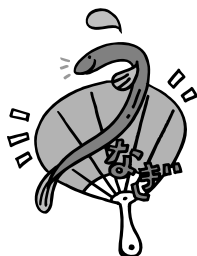
野中 栄司 議員

- 一 安心して快適に暮らせるまちづくりについて
- (一) 生活まわりの交通体系について
- (二) 地域医療と救急車の配備体制について
- (三) 介護保険制度の矛盾について

#### ◎市長

療養中の医師から「八月いっばいで石地診療所を廃止したい」との申し出があった。市としては地域の要望にこたえるべく医師会などに診療所継続のための医師派遣等について打診しているが、現状は

かなり難しい感触を受けている。引き続き医師会等に要望を続けていくが、当面は廃止せざるを得ない。現在の西山診療所への通院体制を維持することで対応していきたい。救急車の配備体制については、おおむね人口三万人ごとに一台を基準として市町村の状況等を勘案した数とされており、現在、予備車を含め六台配備している。現在の分遣所の位置は、広域事務組合設立時に市町村の人口等を考慮し、災害発生時における本署及び各分遣所からの緊急走行時間等をもとに現在の位置が設置されたもので、今後も現体制を維持していきたい。なお、西山分遣所については、老朽化に伴い、平成二十一年度をめどに現産業会館を改修し、移転する計画である。搬送先については、かかりつけ医療機関と連絡を取り、受け入れが可能であれば、長岡地域への搬送も行っている。





## 障害者控除認定書の発行



持田 繁義 議員

一 ごみの総量を減らす方策について

- 家庭ごみ有料化は今やるべき課題ではない
- 「もったいない」をベースに「4R意識」をさらに醸成する
- 分ければ資源というなら、ごみの総量から資源ごみを分離して表示する
- 生ごみを減量するため、資源化など、特色ある地域づくりを支援する
- 環境教育、啓発活動を一層強化・具体化する
- 「有料化しないごみ減量」を全国が目指す街づくりにつなげる

- 二 すべての要介護認定高齢者に障害者控除認定書の発行を求める
- すべての要介護認定高齢者を、「障害者に準ずる」者として認めること
- 要介護認定高齢者に、障害者控除が受けられる旨を個別に周知すること
- 日本青年会議所作成アニメ(DVD)「誇り」を教育の現場に持ち込ませないこと

現在、市では、介護保険事業で要介護3以上を「障害者に準ずるもの」として、要介護2から要支援については無視しているが、この対応は不適切であり、直ちに改善を求める。また、関係者への通知徹底は、本人申告による「障害者控除認定」扱いでは、趣旨や制度を知らない方は申請できず、不十分で不親切である。改善が特別に求められる。

### ◎市長

当市では、六十五歳以上で要介護3以上、寝たきりの状態が六カ月以上続いている人を「特別障害者」と認定しており、要介護度2以下では身体等の状況が改善する場合も

あることから認定は難しいと判断してきた。市町村によって認定基準が異なっているのも事実であり、要介護度1・2については「特別障害者」ではなく、「普通障害者」の視点から認定していく方向で検討したい。また、周知については、毎年度確定申告前に、市ホームページ及び広報に掲載し、該当する方は申請するよう周知を行っている。この認定は、すべての要介護認定者に求められるものではなく、税の申告上必要とする方に限られることから、現在の周知方法で足るものと考えている。

## 市民と行政による協働社会の形成の検証



飯塚 寿之 議員

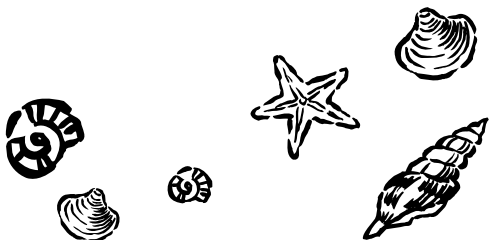
- 一 柏崎市の自治運営の基本の一つである「市民と行政による協働社会の形成」に向けた仕組みづくりについて
- 二 なぜ、協働の自治体なのか
- 三 これまでの取り組みの検証
- 三 協働をはぐくむ具体的な仕組みづくりについて

市民参加のまちづくり条例施行以来、また、平成十六年三月、NPOとの協働推進の指針が作成されて以来、協働の指針仕組みづくりについて、行政側から考える協働と、市民の側から考える協働が一致しているのか心配がある。市民への啓発活動、職員の協働能力育成について取り組みが行われてきたのか、お聞きしたい。

### ◎市長

指針に基づき、市職員のNPOや協働研修、NPO向けの研修支援としてのNPOスキルアップ補助事業及びNPO活動普及啓発事業を実施し、平成十七年三月には「市職員とNPOとの協働マニュアル」を策定し、NPO活動の

理解と協働推進に向けた仕組みづくりを現在進めている。市民向けの協働推進施策としては、昨年八月に、町内会役員及びNPO関係者等を対象に「住民自治と協働のまちづくり研修会」を開催し、住民自治と協働の仕組みづくりや事例について研修していただいた。今年度、市の新規事業として、市民活動団体等を対象に「まちづくり担い手助成事業」というまちづくりに関する提案・実行事業の助成制度を設け、市民活動団体等から事業提案を受け付け、協働の足がかりとしていきたいと考えている。



- 一 新市民会館建設位置について、駐車場や交通アクセスの観点から、小松跡地、もしくは、その周辺の土地が最適と思われるが、市長の考えを伺う
- 二 競争性、談合防止のための一般競争入札の導入は理解するが、地元企業への発注を初め、柏崎市内の経済・雇用環境とのバランスをどうとらえているか、市長に伺う
- 三 多くの市民から白紙撤回の署名も集まった番神海岸の恒久的浜茶屋建設問題について、改めて、その経緯と責任の所在、今後の

### 番神海岸の恒久的浜茶屋建設問題



三井田 孝欧 議員

対応と対策について、市長に伺う

前回の議会でも質問し、その後七千名を超える多くの市民からの反対署名が届けられた。基本方針について西川前市長による決裁があったのかどうか。番神海岸は、柏崎市政にとって重要であり、昭和二十五年、柏崎市制施行十周年の記念事業として、「日蓮劇」が番神海岸で行われている。また、同年に制定した福浦八景の一つは「番神岬」である。歴史の重みをどうとらえるのか。

#### ◎市長

署名簿は、四月六日と五月九日の二回、合計七、八六七人の署名をいただき、真摯に受けとめている。番神堂主管秋山様及び関係者の代表の皆様には、西端二区画を当分の間、従来どおりの対応とする番神海水浴場旅館浜茶屋組合の考えをお伝えし、当面の対応としてやむを得ない旨のお話をいただいている。書面による合意に向けて今後も引き続き番神海水浴場旅館浜茶屋組合と協議していく。基本方針は、庁内関係課で

以前から検討が重ねられ、平成十六年二月に方向づけされたが、手続が取られず、行政事務の執行上極めて適正を欠いたものであった。番神海岸は、日蓮聖人着岸の地として、歴史的、文化的に価値のある景観と認識している。また、古くからの海水浴場であり、総合的にバランスを取りながら、取り組んでいきたい。

#### 永年勤続議員表彰

このたび、次の三議員が永年勤続議員として、また、市功労者として受賞・表彰されました。

○全国市議会議長会及び北信越市議会議長会 (二十年)

戸田 東前議員

矢部 忠夫議員

(十五年)

持田 繁義議員

○柏崎市議会

戸田 東前議員

矢部 忠夫議員

○柏崎市功労者

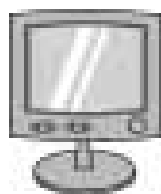
持田 繁義議員

### 議会日誌

- 四月
  - 25日 松江市議長来庁
  - 30日 市議会議員任期満了
- 五月
  - 1日 市議会議員任期開始
  - 2日 議員全員懇談会
  - 11日～16日 遠藤・荒城・星野議員研修・行政視察(東京・調布市)
  - 14日 議会世話人会
  - 14日～16日 公明党二議員研修・行政視察(東京・調布市)
  - 17日 議会運営に関する説明会
- 六月
  - 1日 北上市議員視察来庁
  - 4日 会派代表者会議
  - 11日～22日 六月定例会
  - 19日 全国市議会議長会総会(東京Ⅱ霜田議長出席)
  - 27日～29日 社会クラブ四議員調査出張(東京・山梨県富士河口湖町・同身延町)
- 七月
  - 2日 議会だより編集委員会
  - 4日 東広島市議員視察来庁
- 25日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会総会(東京Ⅱ霜田議長(会長)・丸山議員(顧問)出席)
- 28日～29日 議員研修会
- 31日 議会運営委員会



### 市議会本会議のインターネット中継



市議会本会議のインターネット中継(生中継及び録画)を平成十八年九月定例会から始めました。柏崎市議会のホームページからご覧ください。



## 6 月 定 例 会 議 決 一 覧

市 長 提 出 議 案		
件 名	議決状況	議決結果
専決処分報告について(平成19年度老人保健特別会計補正予算(第1号))	全会一致	承 認
火災予防条例の一部を改正する条例	"	原案可決
平成19年度一般会計補正予算(第2号)	"	"
平成19年度老人保健特別会計補正予算(第2号)	"	"
平成19年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	"	"
特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	"	"
特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数	*継続審査
職員恩給条例等の一部を改正する条例	全会一致	原案可決
税条例の一部を改正する条例	"	"
都市計画税条例の一部を改正する条例	"	"
妊産婦、乳児及び幼児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	"	"
契約の締結について(二田コミュニティセンター新築(建築本体)工事)	"	"
住居表示に関する法律による市街地の区域及び住居表示の方法について	"	"
市道路線の廃止について	"	"
市道路線の認定について	"	"
財産の取得について(電気式食器消毒保管庫)	"	"
監査委員の選任について	賛成多数	同 意
教育委員会委員の任命について	全会一致	"
人権擁護委員候補者の推薦について	"	"

議 員 提 出 議 案		
件 名	議決状況	議決結果
30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書(案)	賛成多数	原案可決
「年金記録」問題被害者への速やかな補償を求める意見書(案)	"	"

## 5 月 臨 時 会 議 決 一 覧

市 長 提 出 議 案		
件 名	議決状況	議決結果
専決処分報告について(税条例の一部を改正する条例)	全会一致	承 認
専決処分報告について(都市計画税条例の一部を改正する条例)	"	"
専決処分報告について(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	"	"
専決処分報告について(公告式条例の一部を改正する条例)	"	"
契約の締結について(柏崎市総合体育館改修工事)	"	原案可決

議 員 提 出 議 案		
件 名	議決状況	議決結果
議会委員会条例の一部を改正する条例	全会一致	原案可決

\* 継続審査とは、会期中に議案の審査を終わることができず、次の定例会まで審査を継続して行うこと



汽車とじいちゃん

議員 三井田孝欧

短い針が九にきたら寝る時間と決められていた幼い頃、ふとんに入ってもすぐに寝付けない耳に入ってくるのは、「ガタン、ガタン」と定期的に響く電車の音だった。寝る前に聞く音として今でも耳に残っている。幼いながら、その事を話していたのだから、祖父がよく電車に乗せてくれた。祖父は電車とは言わず、必ず汽車と言っていた。

祖父と手をつなぎ、えんま堂裏の我が家から諏訪町商店街に向かつて歩き始める。それぞれのお店が商品を並べている中、「おじいちゃん、あれ何?」「これ何するやつ?」と会話をしながら歩く。お肉屋さんで、まだ熱い揚げ物、あれはコロッケだったであろうか、とにかく揚げ物を買うのが定番であった。お店の人が紙に巻いて渡してくれていたが、いつの間にかやら染み出た油を指に感じたものである。思えば、あの頃の商店街には油、魚、野菜、焙じているお茶など、とにかく「匂い」が

あった。続いて、酒屋さんで、金と銀の包み紙がまぶしい四角いマグロフレークの小袋、そしてワンカップ。商店街を抜けて東柏崎駅に向かうと当時としては大きいデパートがあった。おもちゃを買ってもらいたい私は「見ていく」とゴネる。しかし、祖父も祖父。「ほら、汽車がもう来たっ」と慌てたそぶりで駅に向かうが、ホームに着いても、汽車の姿はない。こうやって毎回うまく「たらかされる」のであった。

汽車がくるまでは、マグロフレークを頼張る。いま思えば小さな子供には塩気が強いと思うが、よく食べていた。包み紙が綺麗な金と銀であり、これを折り紙のようにしている間に、念願の汽車が到着する。プシューとドアが開いたところで飛び乗るように乗車し、窓側に座る。少し遅れて祖父も隣に座り、いよいよ汽車が動きだすと、カチヨンという開封音とともに、受け口でワンカップの酒を飲み始める祖父。少し飲んで、ラベルの裏にある風景写真を眺め、「ほほお」と意味不明の感嘆をし、また飲んで外の色を孫と一緒に眺める。「あれ

は何だ」と説明し、気がつくのとワンカップは空。そしてお馴染みの放送、「かしわああざきい〜」。後ろ髪を引かれつつ降車し、ほろ酔いの祖父と孫は我が家に戻る。

孫の為に仕方がない?短かくも楽しい旅。家族の絆として、駅が多く景色も素晴らし柏崎だからこそ、次世代の子供にも体験してもらいたい。

議員寄稿

人間社会の指針となることわざ

議員 吉川 英二

四月二十八日、新築した住宅に引っ越した。その荷物整理中に見つけた色紙入りの箱。開けてみると数多くの先人の方々から頂いた物ばかり。桐箱の中から一枚一枚取り出して、色紙に書かれた文字を確かめた。その中に「温

故知新」があった。この色紙は昭和四十二年から同五十年四月まで二期八年間、高柳町長を勤められた故大塚福次郎先生の書である。温故知新は、古きをたずね、新しきを知ると聞いていたが、元来浅学の私には真の意味は解らず、この一枚によって勉強することができた。その意味は、全ての思考や行動の中で『昔の物事を研究し、吟味して、そこから新しい知識や見解が生まれてくるもの』。温故知新は私達が生きる為に大切な指針となることわざにも結びつく。戦中戦後の食うわ食わずの子供時代に父母や祖母から日常生活の中で度重ねて叱られたり教わった言葉を思い出し、その記憶を辿ってみる。

が鵜のまねをしても魚は獲れない」「一升袋には一升入らず」欲張っては失敗する。「実の入る程に頭を垂れる稲穂かな」又、子供時代の遊びの中にも約束を守らせるために「指切りげんま嘘ついたら針千本吞ます」これら言葉の殆んどがその年齢に応じて家庭内で子供の躾として両親と祖母から教えられてきたものである。

「嘘を云うと閻魔様に舌を抜かれる」「ご飯を粗末にすると目がつぶれる」「嘘は泥棒の始まり」「人の振り見て我が振りなおす」「能ある鷹は爪を隠す」「早起きは三文の得」「安物買いの銭失い」「親の意見と茄子の花は千に一つの無駄がない」「情は人の為ならず」情は人の為でなく廻り廻って自分のところに戻ってくるもの。「物は大切に使わないともつたない、ばちが当たる」「鳥

現代の日本は青少年の非行、特に低年齢化が大きな社会問題となっている。又、長寿大国とは裏腹に二一ト大国で親達の年金を食い乍ら生きている若者が多いことは嘆かわしい。先達が生活の中から教訓として語り継いできた言葉と教えを、次世代の人々に語り継いでいくことが我々の責任でもあると思う。これをしないと実にもつたない教訓を失うことになる。又、景気回復の反面、腹立たしく悲しい事件が多すぎる。訪問介護最

### 平成18年度政務調査費の会計報告

柏崎市議会における会派が行う市政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における会派に対し政務調査費を交付していますが、平成18年度における各会派の支出状況を次のとおり報告します。なお、政務調査費は会派所属議員 1 人当たり年48万円が交付され、残余の額が生じた場合は返還しています。

費目	会派	整友会 (9人)	社会クラブ (4人)	日本共産党柏崎市議員団 (3人)	柏崎のみらい (3人)	市民クラブ (2人)	民友 (2人)
支給総額		4,800,568	1,920,380	1,440,174	1,440,248	960,243	960,174
研究研修費		1,023,290	799,860	528,018	144,740	0	441,420
調査旅費		2,166,910	429,500	23,640	226,370	492,540	0
資料作成費		107,308	0	0	0	8,040	110
資料購入費		173,655	237,625	256,325	112,222	0	21,500
広報費		786,456	0	546,951	0	0	0
広聴費		0	0	16,280	265,640	0	0
人件費		0	0	0	0	0	0
事務所費		56,110	63,224	68,960	28,746	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
支出合計		4,313,729	1,530,209	1,440,174	777,718	500,580	463,030
差引残額(返還額)		486,839	390,171	0	662,530	459,663	497,144

費目	会派	公明党 (2人)	蒼生会 (2人)	西山高柳クラブ (2人)	誠和政策研究会 (1人)	エプロンの会 (1人)	あさひ (1人)
支給総額		960,082	960,179	480,130	480,071	480,152	480,071
研究研修費		561,130	0	0	0	0	0
調査旅費		0	0	205,860	0	0	480,071
資料作成費		560	0	0	19,631	0	0
資料購入費		97,120	8,720	0	53,169	0	0
広報費		0	500,000	253,050	76,720	327,558	0
広聴費		0	0	0	0	0	0
人件費		0	0	0	0	0	0
事務所費		238,942	0	0	330,551	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
支出合計		897,752	508,720	458,910	480,071	327,558	480,071
差引残額(返還額)		62,330	451,459	21,220	0	152,594	0

科目	内 容
研究研修費	研究会等を開催するための経費及び他の団体の開催する研修会等に参加する経費
調査旅費	先進地調査及び現地調査の経費
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料作成の経費
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入経費
広報費	議会活動及び市の施策について報告及びアピールするための経費
広聴費	会派の政策等に対する要望、意見等を聴取するための会議等の経費
人件費	調査研究活動を補助する職員を雇用するための経費
事務所費	調査研究活動のために必要な事務機器購入費及びリース料等
その他	上記に掲げる経費以外で調査研究活動に必要な経費

この議会だよりは白紙配の率70%、白紙度70%の用紙を使用しています。

**編集後記**

紫陽花の季節です。六月といえば梅雨、柏崎ではえんま市、初夏を飾る一大風物詩です。笹団子をつくる家庭は少なくありませんが、子供たちにとっては今も昔も変わらぬ夢の三日間です。お孫さん、お子さんと一緒に出かけられた方も多かったと思います。天候と曜日にも恵まれた今年は、二十万の人数でした。今年のはんま市は如何でしたか。

さて、六月議会も終了しました。四年に一度、議場に新風が吹き込みます。さきの統一地方選挙で七人の新人議員が誕生し、全員が一般質問で登壇、市政への思い、地域の声を語りました。議員の熱意を汲み取っていたら幸いです。

(佐藤敏彦)

**議会だより編集委員会**

今任期の議会だより編集委員は次のとおりです。

委員長 吉川 英二  
副委員長 佐藤 敏彦  
委員 宮崎 孝司 入沢 徳明  
村田幸多朗 星野 正仁  
若井 洋一 遠藤 清  
若井 恵子 三井田孝欧